

## 平成21年度 指定管理事業報告

北海道立十勝圏地域食品加工技術センターの設置目的「地域における食品加工技術の高度化を促進し、北海道の食品工業の発展に寄与する」を達成するため、施設等の適切な保守管理を行い、利用者へのサービス向上を図るとともに、利用の促進を行った。

### 1. 利用提供業務

概要	利用実績	内容
試験機器等を一般に広く開放し、利用指導等を行う。	機器等利用 265件 1,191時間 研修室利用 13件 59時間 計 278件 1,250時間	利用者に対し、適切な利用指導を行うと共に、加工・分析等の技術支援や情報提供を行う。
主な利用機器	真空凍結乾燥機、レトルト殺菌装置、原子吸光分光光度計、高速液体クロマトグラフ、ガスクロマトグラフ、マッフル炉、サンプルミルなど	

### 2. 利用促進業務

概要	内容
試験機器等の利用を促進するための情報提供等を行う。	施設利用促進のため、ホームページやパンフレット等により各種情報の提供を行うと共に、企業や関係機関との連携・協力により、効率的・効果的な利用促進を行う。 ・視察見学による来館者 295人 （主な視察者）文部科学省、東京都小平市議会、幕別町議会、JA、教育機関（帯広畜産大学、大谷短大）など

### 3. 施設等管理業務

概要	内容
利用者が快適に施設を利用できるよう、施設の適切な保守管理を行う。	施設等の保守点検・法定点検・修繕を行い、常に機能を発揮できるよう適正な管理を行う。 施設の衛生と美観を保つため、衛生管理を行う。 施設内外を定期的に巡視し、利用状況の把握、異常の有無を確認を行う。